

製品名: ABHD4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06439**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	ABHD4
別名	ABHD4; Abhydrolase domain-containing protein 4; Alpha/beta-hydrolase 4; Lyso-N-acylphosphatidylethanolamine lipase
遺伝子 ID	63874.0
SwissProt ID	Q8TB40
免疫原	抗血清はヒト ABHD4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 251-300

背景

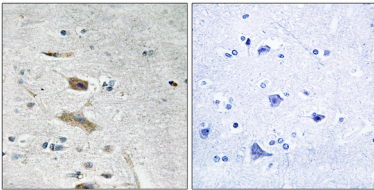
注意: 活性部位残基であると予想される保存された His の代わりに、Thr-291 が存在します。機能: N-アシルホスファチジルエタノー

ルアミン (NAPE) 選択的リゾホスホリパーゼ。N-アシルホスファチジルエタノールアミン (NAPE) から sn-1 および sn-2 アシル鎖を加水分解して、N-アシルエタノールアミン生合成の中間体であるグリセロホスホ-N-アシルエタノールアミン (GP-NAE) を生成することにより、エンドカンナビノイドのアナンダミドを含む N-アシルエタノールアミンの生合成に寄与します。飽和、一価不飽和、多価不飽和 N-アシル鎖を持つ基質を加水分解します。リゾホスファチジルコリン、リゾホスファチジルエタノールアミン、リゾホスファチジルセリンなどの他のリゾリン脂質に対しては顕著な活性を示さない。、類似性: ペプチダーゼ S33 ファミリーに属します。ABHD4/ABHD5 サブファミリー。、注意: 活性部位残基であると予想される保存された His の代わりに Thr-291 が存在します。、機能: N-アシルホスファチジルエタノールアミン (NAPE) 選択性リゾホスホリパーゼ。N-アシルホスファチジルエタノールアミン (NAPE) から sn-1 および sn-2 アシル鎖を加水分解し、N-アシルエタノールアミン生合成の中間体であるグリセロホスホ-N-アシルエタノールアミン (GP-NAE) を生成することで、エンドカンナビノイドであるアナンダミドを含む N-アシルエタノールアミンの生合成に寄与します。飽和、一価不飽和、多価不飽和 N-アシル鎖を持つ基質を加水分解します。リゾホスファチジルコリン、リゾホスファチジルエタノールアミン、リゾホスファチジルセリンなどの他のリゾリン脂質に対しては顕著な活性を示さない。、類似性:ペプチダーゼ S33 ファミリーに属する。ABHD4/ABHD5 サブファミリー。、

研究分野

-

画像データ



ABHD4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。